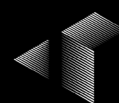




# TOA-TONE BORING

CORPORATE GUIDE

株式会社東亜利根ボーリング 会社案内



TOA-TONE BORING CO.,LTD.

TO NE × Total Productivity

# 開発・製造販売

私たちは、地下と向き合い続けてきた技術者としての経験と知識を、製品というかたちに昇華させています。

掘削現場で得られたリアルな課題とニーズを出発点に、機械・機器や関連資材の開発・改良に取り組み、課題やニーズを深掘りし、現場に必要とされる製品を届けています。

私たちは単なる製造業者ではなく、掘り進むための技術をあきらめず、屈することなく新たな未来を目指しています。今後も地下と向き合う現場の伴走者として、技術と信頼をこれからも積み重ねていきます。



TOA-TONE  
BORING  
CORPORATE GUIDE

# TO NEXT

総合生産力と技術力で未来を掘り進める

TO NE × Techniques

## 都市土木工事

日本の地質は非常に複雑で、主に人が多く住む平野部では軟弱地盤の沖積層が大半を占めています。大型構造物や地下構造物を建設する際、構造物の沈下や倒壊を防ぐため、基礎杭や地中連続壁などの基礎工事が必要になります。

工事本部は、一般ボーリング機械製造や、日本で唯一地中連続壁機械の製造を行う機械メーカーの工事施工部門として、建築現場の設計・施工管理まで行う、専門基礎工事業者です。

私たちは、これからも地球と対話をして、地下開発工事から日本経済発展に寄与し貢献し続けていきます。



東亜利根ボーリングは、  
「地層」から知識を掘り起こし、  
「知創」で未来を築きます。

「地層」という過去を探究し、  
深めた知識で創り出す「知創」は未来への想い。  
私たちは大地に可能性を見出し、革新的な技術を追い求め、  
成長し信頼を築いてきました。  
これからも「地層の声を聴き、未来を創る」  
最前線で次世代の技術革新に挑戦していきます。



# 開発・製造販売

私たちは、地下と向き合い続けてきた技術者としての経験と知識を、製品というかたちに昇華させています。

掘削現場で得られたリアルな課題とニーズを出発点に、機械・機器や関連資材の開発・改良に取り組み、課題やニーズを深掘りし、現場に必要とされる製品を届けています。

私たちは単なる製造業者ではなく、掘り進むための技術をあきらめず、屈することなく新たな未来を目指しています。今後も地下と向き合う現場の伴走者として、技術と信頼をこれからも積み重ねていきます。



## 再生可能エネルギー開発

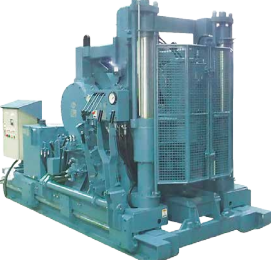
脱炭素社会の実現に向け、地熱・地中熱利用への注目が高まっています。当社の先進掘削機は、高速回転振動掘削技術により、多様な地層に対応した高精度な調査・施工を実現。再生可能エネルギー分野における持続可能なインフラ整備に貢献しています。



ソニックドリル

## 地下資源開発

地下資源開発の多様なニーズに応えるため、当社は浅層から深度2,000mまで対応可能な掘削機を開発しています。高い掘削性能と優れた操作性により、安全性・施工効率の向上、工期短縮やコスト削減を実現し、現場の確実な成果に貢献しています。



ドライブヘッド式  
ロータリードリル

その他、さまざまな用途で利用されています。

建設工事・学術調査／土壌・地下水汚染調査／宅盤改良工事／基礎工事／地すべり防止工事／都市部地下開発／新たな市場への対応／ボーリングツールズ／エアハンマー／SDGs

TOA-TONE  
BORING  
CORPORATE GUIDE

# TO NE×T

総合生産力と技術力で未来を掘り進める

100年以上にわたり、見えない地中に挑み続けてきた東亜利根ボーリング。

その「総合生産力」Total productivityと「技術力」Techniquesで、持続可能なインフラ整備、災害に強い街づくりを支え、次の未来へ安心をつなげます。

# 都市土木工事

日本の地質は非常に複雑で、主に人が多く住む平野部では軟弱地盤の沖積層が大半を占めています。大型構造物や地下構造物を建設する際、構造物の沈下や倒壊を防ぐため、基礎杭や地中連続壁などの基礎工事が必要になります。

工事本部は、一般ボーリング機械製造や、日本で唯一地中連続壁機械の製造を行う機械メーカーの工事施工部門として、建築現場の設計・施工管理まで行う、専門基礎工事業者です。

私たちは、これからも地球と対話をして、地下開発工事から日本経済発展に寄与し貢献し続けていきます。



## 01 地中連続壁工事

鉄筋コンクリート製の壁を地下に連続して構築する工事で、地上構造物の基礎としての機能に加え、地下施設（駅舎・商業施設など）の土留め壁や遮水壁として広く活用されています。



## 02 場所打ち杭工事

地盤支持力の確保や構造物の安定性向上のため、地盤に杭穴を掘削し、円筒状の鉄筋かごを建て込み、コンクリートを打設することで、地中内に杭を直接造成する工事です。



## 03 地盤改良工事

構造物の安全性・耐久性確保のため、地盤の性質を人工的に改善する工事です。特に軟弱地盤では、地盤の支持力不足や沈下のリスクが高く、改良工事は不可欠な基礎対策となります。

## 100年以上の歴史が紡ぐ、技術の蓄積と製造体制

1917年の創業以来、国土開発・国際協力のための技術・機械の提供を通じて社会に貢献しています。長年の経験に基づく技術力・信頼性・対応力が、「できる」をソウゾウする事業の基盤です。



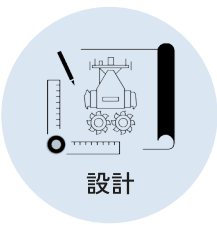
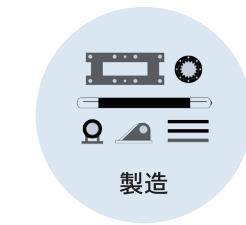
## 製造拠点は国内 万全のアフターサポート

小型機から大型機まで取り扱う広い工場では、製造のみならず、定期的なメンテナンス・安定した部品供給・適切な修理に対応。日本国内だからこそその万全のアフターサポート体制を整えています。



## 開発・製造販売事業 4つの柱

多様な現場に対応する製品の「製造」、オーダーメイドも可能な「設計」、課題解決やサポートなどの「対応力」、103カ国以上とつながる「グローバル」を、4つの柱として位置づけています。



## 全国各拠点と協力工場 そしてグローバル展開による幅広いチャンネル



お困り事があれば  
いつでもお申し付けください！



東亜利根ボーリングPRキャラクター  
© 2026 Toa-Tone boring Co., Ltd.

# 会社概要

当社HPIは  
こちら



社名(商号) 株式会社東亜利根ボーリング  
TOA-TONE BORING CO.,LTD.  
創 業 1917年5月4日  
設 立 1970年12月18日  
資 本 金 9,500万円  
代 表 者 代表取締役社長 岩佐 次弘  
従業員数 150名(2026年4月末)  
株 主 東亜道路工業株式会社(100%) 東証プライム上場  
所 在 地 本社  
〒106-0032  
東京都港区六本木7丁目3番7号 東亜道路工業ビル3F  
代表 TEL 03-5775-3321 営業部 TEL 03-5775-3939  
海外営業部 TEL 03-5775-3921

当社は、東亜道路工業グループの一員です。

## 沿革

はじまりは好奇心から——  
深い探求心が紡いだ100年企業としての誇り

|              |                                        |
|--------------|----------------------------------------|
| 1917年(大正6年)  | 塩田岩治が塩田商店を再建                           |
| 1926年(大正15年) | ハンドフィード式ボーリングマシンを開発、国内初の純国産試験機メーカーとなる  |
| 1937年(昭和12年) | 「株式会社 利根ボーリング」設立                       |
| 1949年(昭和24年) | 国内初のオイルフィード式高速回転ボーリングマシンを開発            |
| 1960年(昭和35年) | 業界初のJIS工場認定を受ける                        |
| 1967年(昭和42年) | 伊予三島市でコアボーリング2,703mの日本最深記録を達成          |
| 1981年(昭和56年) | 青函トンネルの先進ボーリングで2,150mを掘削               |
| 1986年(昭和61年) | 水平多軸回転式地中連続壁掘削機 EM 型機「エレクトロミル」を開発      |
| 1990年(平成2年)  | 明石大橋橋梁工事において EMX-320 が採用               |
| 1991年(平成3年)  | 東京湾横断道路川崎人工島工事において EMX-320 が採用         |
| 2000年(平成12年) | 土壤汚染調査用ロータリーパイプレーション式ボーリングマシン EP 型機を開発 |
| 2002年(平成14年) | ロータリーパイプレーション式高速掘削ドリル SD 型機の製造         |
| 2005年(平成17年) | 株式会社東亜利根ボーリングを設立                       |
| 2017年(平成29年) | 創業100周年展示会を開催                          |



## 事業所

### 営業部

札幌営業所  
〒063-0033  
北海道札幌市西区西野三条8丁目9-3  
シャレード藤 R  
[TEL]011-666-2131 [FAX]011-666-2141

東北営業所  
〒984-0038  
宮城県仙台市若林区伊在  
2丁目22番17号-101号室  
[TEL]022-762-5402 [FAX]022-762-5421

大阪営業所  
〒532-0011  
大阪府大阪市淀川区西中島4丁目5番18号  
新大阪エイトビル503号室  
[TEL]06-6379-3367 [FAX]06-6379-3368

福岡営業所  
〒812-0042  
福岡県福岡市博多区豊2丁目3番80号  
グランシャリオ豊2号室  
[TEL]092-260-8156 [FAX]092-260-8157

### 工事本部

関東支店  
〒106-0032  
東京都港区六本木7丁目3番7号  
[TEL]03-5775-3322 [FAX]03-5775-3967

関西支店  
〒532-0011  
大阪府大阪市淀川区西中島4丁目5番18号  
新大阪エイトビル503号室  
[TEL]06-6300-7743 [FAX]06-6379-3368

### 工場・試験場

塩山工場  
〒404-0047  
山梨県甲州市塩山  
三日市場1900番地1  
[TEL]0553-20-2600(代表)  
[FAX]0553-20-2660

大和試験場  
〒242-0014  
神奈川県大和市上和田2061番地